



地域商社支援

菊地 航平

Kohei Kikuchi

出身 宮城県名取市

所属 株式会社かほくらし社

任期 R3.4～R7.3

協力隊にQ&A

Q.協力隊になったきっかけは？

A.大学4年生のときに、河北町の地域活性化に関わる様々な方とお会いし、その魅力的な事業に携わりたいと思ったことがきっかけです！

Q.河北町の好きなところは？

A.おいしいものに溢れているところです。季節ごとのフルーツにお野菜、毎日食べている「つや姫」も河北町産は特段美味しいです！

活動紹介1

まちの新たな 産品開発・販売

1.かほく探求実践プロジェクト

河北町・県立谷地高校と連携協定を結び、谷地高生と共に地域活性化の取り組みを進めました。毎年約20名の生徒に参加いただき、3年半で様々なプロジェクトを実行しました。谷地高生と商品開発した「谷地の雫(日本酒)」は2025年3月に、「谷地美人(酒粕石鰯)」は2025年5月頃にリリースを予定しています。



2.ナッツ事業

着任した年の春に定植したヘーゼルナッツ。農家8人で「かほくナッツ研究会」を組織し、私自身は研究会事務局を務めました。現在約550本の栽培を進めており、今年度ついに初収穫を迎え、来年度以降の出荷に期待が高まっています。

3.ワイン事業

河北町のぶどうを100%使用したワインの開発に携わりました。今年度は2種をリリース。小量生産・委託醸造ではありますが、毎年販売する度に完売の人気のワインとなっています。



活動紹介2

まちの交流人口・ 関係人口創出

着任当初はコロナ禍で、地域外からの視察・ツアー受け入れが難しい時期もありましたが、これまで計98回・延べ432泊・1000名以上の方へ河北町のご案内をさせていただきました。

ツアーを通して、単に町の施設・産品を紹介するだけでなく、『関係人口(地域のファン)』として町と継続的に繋がり、関わっていただけるような基盤づくりをする事ができたと思います。

今後の抱負

まちを好きだと 思う人を増やしたい

それも、共に企画してくれた仲間、お忙しい中でもいつも温かく受け入れてくださる生産者・事業者・地域の皆様のおかげです。

河北町はわかりやすい観光資源がたくさんある町ではありませんし、電車も通っていません。しかし、魅力的な生産者・きらりと光る地域資源がたくさんあります。まだ多くは知られていない町だからこそ、そんな小さな発見を楽しみ、コアなファンが生まれていく余白がある町だと思います。そんな河北町ならではの楽しみ方をこれからも届けていきたいと思っています。

地域商社ではこれまでの業務に加え、新たにホテル事業、個人では新たに民泊事業を展開していきます。来年度は「まちに来た人・まちで活動する人の受け皿をつくること」が第一目標です。引き続きよろしくお願いいたします。